

北上川流域にもたらしものを考える 北上川展望フォーラム

北上川の恵みや平泉に代表される文化を今後どのように生かしていくべきかを考える「北上川流域の未来への展望フォーラム」(北上川リバーカルチャーアソシエーション主催、会長＝平山健一岩手大学学長)が2月12日、ベリーノホテル関で開かれ、5人のパネリストが北上川の流域文化を生かした地域づくりなどについて意見を交わしました。

基調講演では国際日本文化研究センター教授の川勝平太さんが講演。「平泉文化を生み出した北上川流域を新たな『世界複合遺産』として行く取り組みを今後進めるべき」と提案しました。

パネルディスカッションでは「北上川悠久の流れー今そのもたらしものを考える」をテーマに、青山俊樹・独立行政法人水資源機構理事長、上田紘士・総務省大臣官房審議官、千田孝信・中尊寺貫首、永野勝美・岩手銀行頭取、平山会長の5人がそれぞれ意見や提言、北上川や流域文化を中心にした地域づくりなどを提案しました。



コーディネーターとパネラーの皆さん

市長と女性団体との懇談会

一関地域で活躍する女性団体と浅井市長が懇談する「市長と女性団体との懇談会」が2月3日、市役所本庁で行われました。この懇談会は、各女性団体の活動を通して、市民の立場から地域の課題について話し合うことにより、地域活動の活性化を図り、さらには市全体の発展につなげることを目的とするものです。

19回目となるこの懇談会には、13団体からおおよそ70人が参加。JAいわて南女性部一関協議会と一関そよ風の会の会員2人が司会を務め、進められました。

今回のテーマは「住みよいまちづくり～青少年健全育成について～」。各団体からは、無料化した市営駐輪場の利用状況や、高校生の自転車走行マナー、公園の利用方法などについての報告や意見、提言などが出されました。



活発な意見・提言が出されました

子どもたちが伝承芸能を披露

第8回一関地方伝承芸能交流会が1月22日、舞川の一関文化伝承館で行われ、市内からは▽布佐神楽保存会(門崎小児童)の鶏舞▽舞川小蓬田神楽の岩戸開き▽老松小児童の老松大黒舞▽舞川小児童の鹿子躍り▽牧澤神楽保存会の天之岩戸入りの5団体と、平泉町の長部神楽保存会(長島小児童)の三番叟▽藤沢町の本郷神楽保存会(藤沢小児童)の天之岩戸開きの、合わせて7団体が出演しました。

この交流会は、郷土芸能を確実に次の世代に伝えたい、この芸能を通して世代間や地域間の交流を図りたいとの目的で開催されています。出演者は普段の練習の成果を披露するとともに、他の団体の演目を見て、郷土芸能の多様性や伝承することの大切さを実感していました。観客からは熱演した子どもたちに盛んな拍手が送られていました。



蓬田神楽の子どもたち

花 泉

みるいみなさんを迎え 25周年記念コンサート

花泉町民合唱団(後藤定幸団長)は結成25周年を記念した「みるいみな」ジョイントコンサートを2月11日、花夢パルで開催しました。阿部了子さんの指揮により「世界の約束」「栄光の架橋」などを演奏したほか、シンガーソングライターのみるいみなさんの歌、中高生による友情出演など多彩なハーモニーで四半世紀の節目を彩りました。

同団はメンバー18人。地域内外のコンサートで発表しているほか、今年は県合唱小アンサンブルコンテストで銅賞を受賞しています。



息の合った合唱を披露した
花泉町民合唱団

いわて集落ビジョン大賞 日形・虹の日花里

日形地区の営農組織、虹の日花里(小野寺賢一会長)は2月6日、県水田農業改革推進協議会の「いわて集落ビジョン大賞」を受賞しました。

虹の日花里は16年5月、コメ産地として生き残るため集落営農に取り組もうと190戸の農家で組織。同年11月には地区営農ビジョンを策定し、「夢と希望に満ちた日形農業・農村をみんなでつくろう」をキャッチフレーズに、売れるコメづくりのほかソバの特産品化などに取り組んでいます。



ソバの栽培から加工まで手がける
虹の日花里

自助共助で災害に備える 涌津地区自主防災会発足

涌津地区自主防災会設立総会が1月17日、涌津公民館で行われ、規約や組織体制、事業計画などが承認されました。会長には阿部稔さんが選出されました。

総会には地域や各団体の代表、来賓など50余人が出席。阿部会長は「大災害は明日にでも来るかもしれない。楽しく参加する雰囲気づくりに努め災害に備えたい」とあいさつしました。

地区内の9行政区ごとに部を設置。今後の活動として防災知識の普及や避難訓練、防災用資機材の管理などを行います。



会長に選出された阿部稔さん

「目的意識を持って学んで」 ふるさと塾で貝山さんが講演

ふるさと花泉会が主催する「ふるさと塾」は2月3日、花泉高校で開催され、同会会員で埼玉大学副学長の貝山道博さんが「私と経済学」の演題で講演しました。

貝山さんは自らの専門・公共経済学に出会ったきっかけを通し、目的意識を強く持って学ぶことの大切さを訴えました。興味のあることを見いだせないときにはどうしたらいいかという生徒からの質問には「先生、友人などに相談することでわかってくる」などと答えていました。



花泉高校で学びについて語った
貝山道博さん